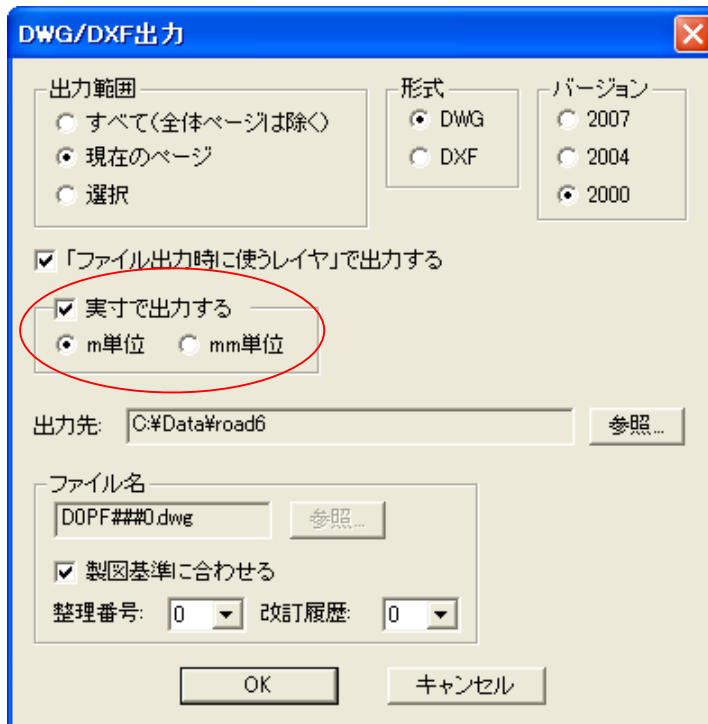


< STRAX バージョンアップ内容 >

- 縦断図 -

バージョン 4.1 (CD のバージョン 4.0.4.0)

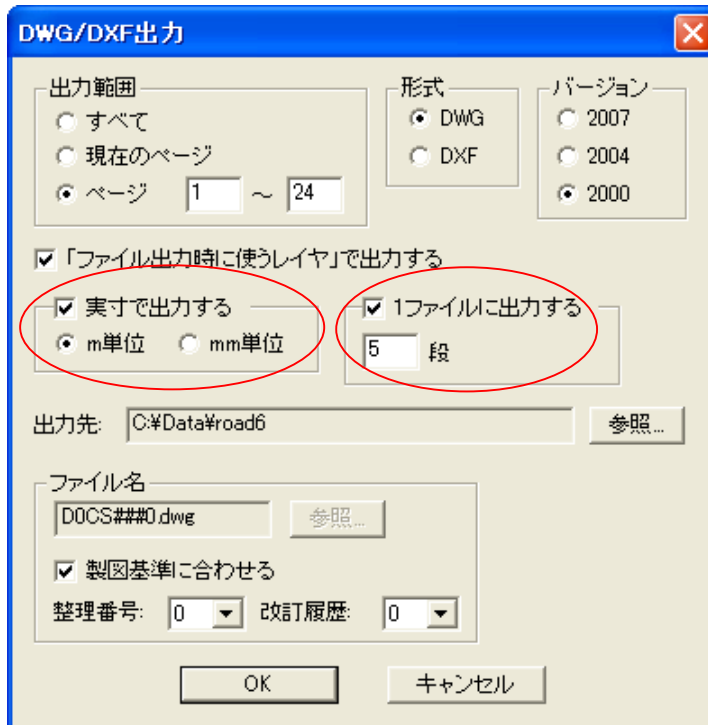
- DWG ファイルに実寸で出力する機能を追加しました。



- 横断設計 -

バージョン 4.1 (CD のバージョン 4.0.4.0)

- DWG ファイルに実寸で出力する機能を追加しました。
- DWG ファイルに複数のページを 1 ファイルで出力するとき、段数を入力できるようにしました。



上のような場合、DWG ファイルには次のように出力されます。

ページ 5	ページ 10	ページ 15	ページ 20	
ページ 4	ページ 9	ページ 14	ページ 19	ページ 24
ページ 3	ページ 8	ページ 13	ページ 18	ページ 23
ページ 2	ページ 7	ページ 12	ページ 17	ページ 22
ページ 1	ページ 6	ページ 11	ページ 16	ページ 21

バージョン 4.2 (CD のバージョン 4.1.0.0)

- 数量・土量計算時に路床、路肩盛土、土羽土の自動計算する／しないを個別に設定できるようにしました。

[数量・土量計算指示]のダイアログの[盛土自動計算]で設定できます。

- 土現、開発局の場合の盛土量の表示を、区分別(BA1=, BA2=)か、概略(BA=)かを設定できるようにしました。

[数量・土量計算指示]のダイアログの[盛土 BA 表示]で設定できます。

- 法面整形工をシール部を除いた長さを出力できるようにしました。

[数量・土量計算指示]のダイアログの[法面整形工]で設定できます。

数量・土量計算指示

伐開除根面積算出方法: 0.伐開除根線の長さ×30cmをかける

盛土BA表示: 0.区分別(BA1=)

土工基面タイプ: 5.

暫定道路の完成部: 0.数量計算しない

盛土自動計算

路床: 0.する

路肩盛土: 0.する

土羽土: 0.する

土羽土優先: 0.規定動作

法面整形工: 0.シールを考慮しない長さ

まとめ 土量 床掘 切整 盛区 盛転 伐開 補正 最大R 床U 幅枕 基/床 盛計 盛勾 切整 盛整 切保 盛保

まとめ線形: []

土量出力: 0.左右合計

床掘出力: 0.左右合計

切土作業形態: 0.なし

盛土区分: 0.発注元にあわせる

盛土転圧幅: 0.なし

面積の伐開除根線

重心補正: 0.しない

重心補正最大R: []

追加 変更 削除

OK キャンセル

床掘UP

幅枕内面積計算: 0.幅枕まで

基面長 / 床ならし: 0.基面長

法面整形工

盛土合計: 0.盛土合計の法面整形工

盛土勾配: 0.なし

小段の取り方

切土: 0. [] 盛土: 0. []

法面保護工

小段の取り方

切土: 0. [] 盛土: 0. []

- [土層線設定]のダイアログに、土積計算書、マスカープで使用する大分類の変化率の設定を追加しました。

土層線

大分類の変化率(C)

土砂: 0.900

軟岩: 1.050

硬岩: 1.400

土層線

土質コード: []

線種: []

変化率(C): 0.000

土	線	補正		
11	2	0.000	0	0

追加 変更 削除

※地形/土層に使われている土質は削除できません。

OK キャンセル

- 測点欄の法面工を、法面保護工と法面整形工が選択できるようにしました。
[測点欄、旗上げ、数量枠の配置]のダイアログの[法面工]で設定できます。

測点欄、旗上げ、数量枠の配置

標準配置

測点欄を作図する

測点名称: []

作図基準: []

作図位置: []

追加距離: []

単距離: []

GH/FH位置: []

BH/CH位置: []

拡幅表示: []

旗上げ

作図位置: []

完成暫定の旗上げ位置: []

暫定の土工幅基準点: []

数量枠を作図する

タイプ: []

法面工: [0. 法面保護工]

線形ごとの配置

線形	測/作	測/名	測/位	測/高	測/mm	測/追	測/単	測/地	旗/位	旗/完	旗/高	旗/mm	旗/土

線形番号: []

測点欄を作図する

測点名称: []

作図位置: []

高さ: []

高さ入力: [] mm

追加距離: []

単距離: []

地盤高: []

旗上げ

作図位置: []

高さ: []

高さ入力: [] mm

完成暫定の旗上げ位置: []

暫定の土工幅基準点: []

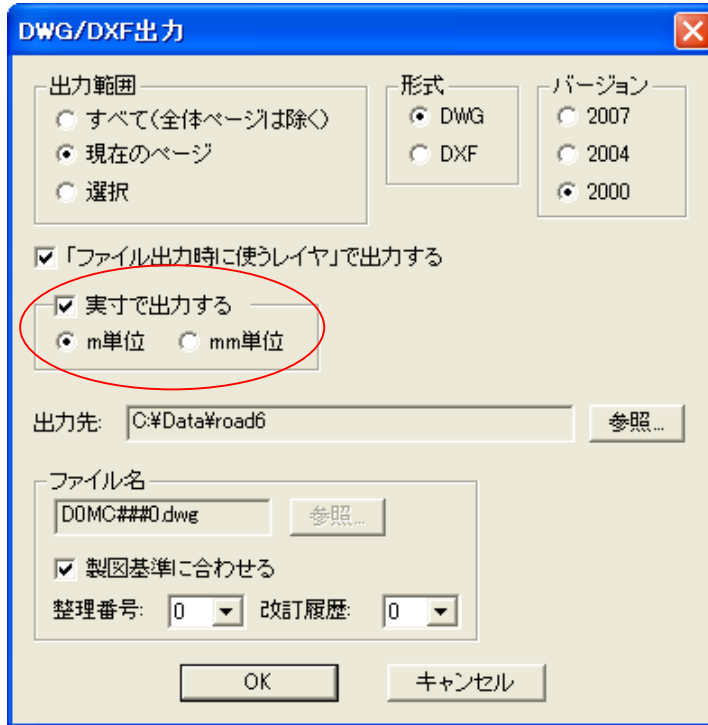
追加 変更 削除

OK キャンセル

- 土積図 -

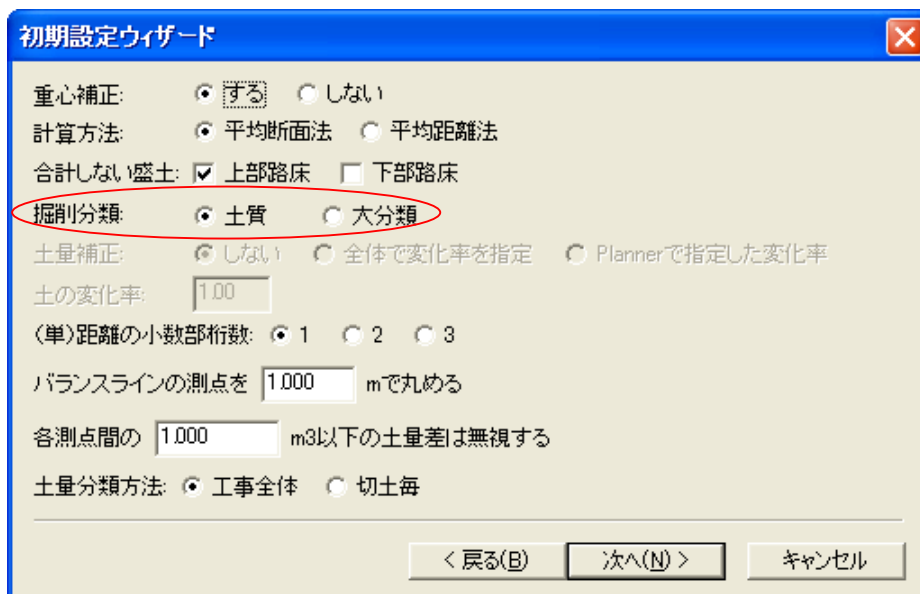
バージョン 4.1 (CD のバージョン 4.0.4.0)

- DWG ファイルに実寸で出力する機能を追加しました。



バージョン 4.2 (CD のバージョン 4.1.0.0)

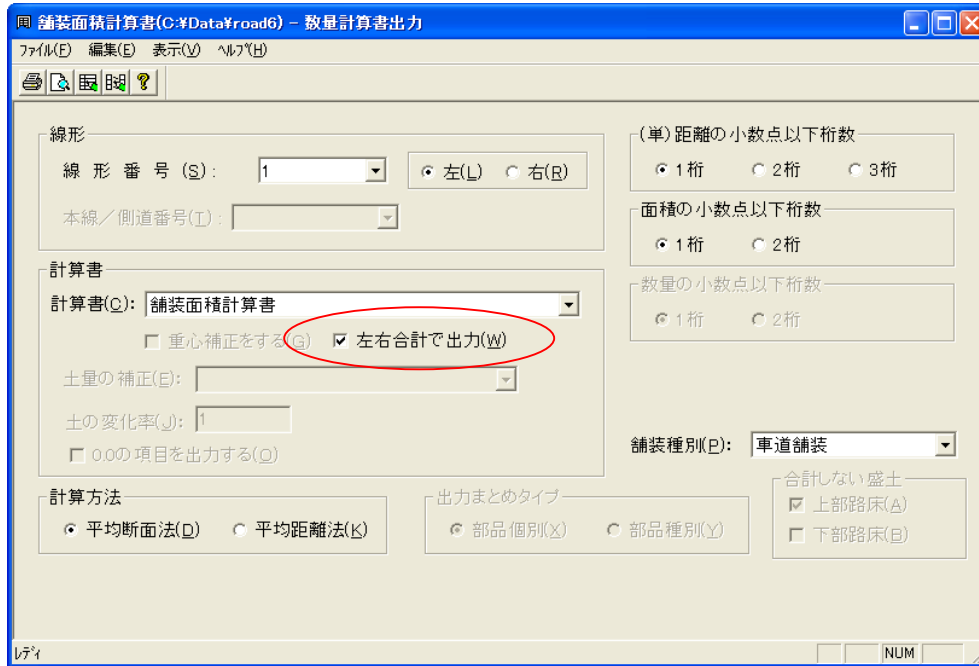
- 大分類での計算をできるようにしました。



- 計算書出力 -

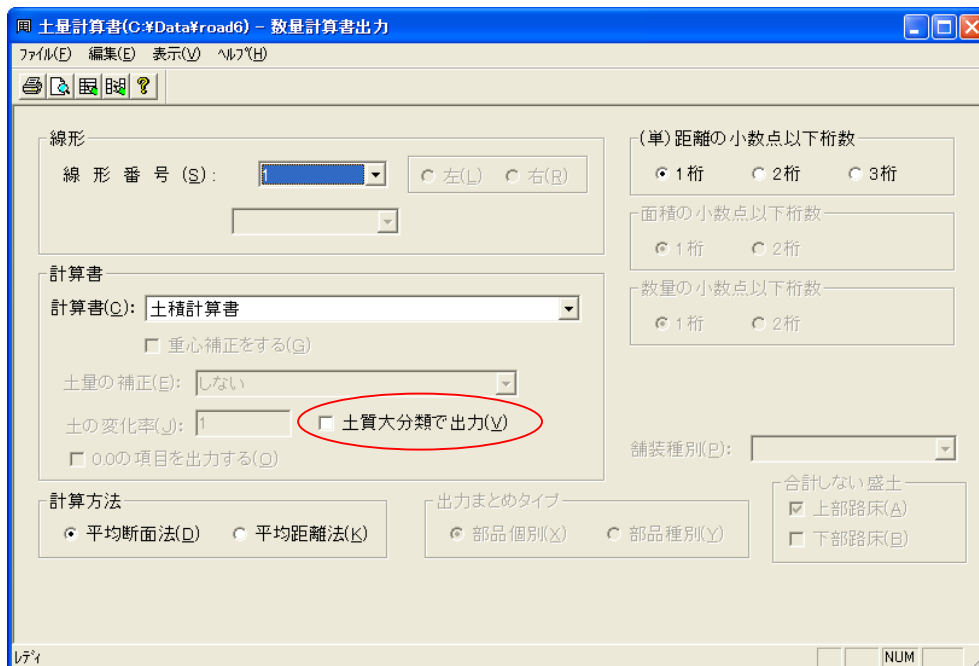
バージョン 2.7.1 (CD のバージョン 4.0.4.0)

- 舗装数量計算書に左右合計で出力できるようにする機能を追加しました。



バージョン 2.7.2 (CD のバージョン 4.1.0.0)

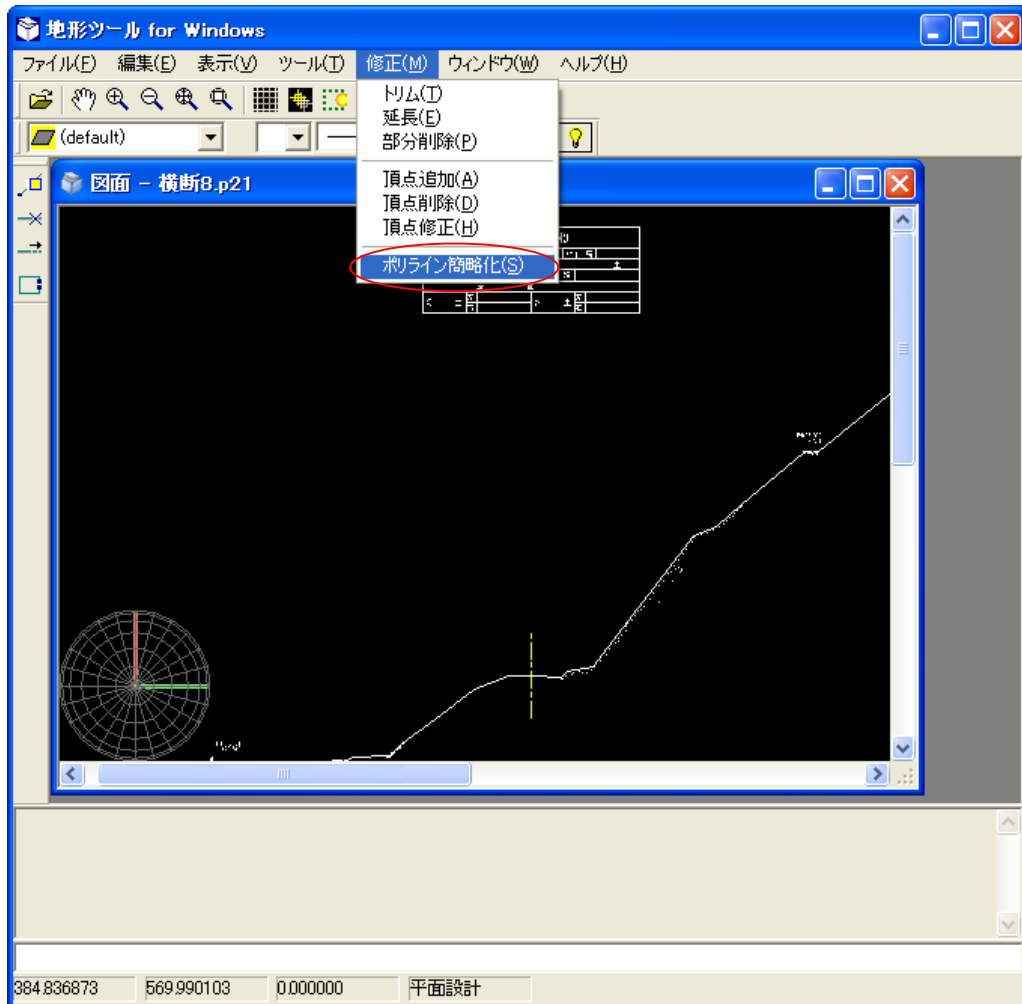
- 土量(土積計算書、切土計算書)、法面整形工(切土)で大分類(土砂、軟岩、硬岩)での出力をできるようにしました。



- 地形ツール -

バージョン 1.2 (CD のバージョン 4.0.2.3)

- ポリラインを簡略化するコマンドを追加しました。



< STRAX 主な変更箇所 >

- Launch -

バージョン 2.0B (CD のバージョン 4.0.2.1)

- ウィンドウのサイズを変更すると、異常終了したり、アイコンが真っ白になったりする件を修正しました。

- 地図編集 -

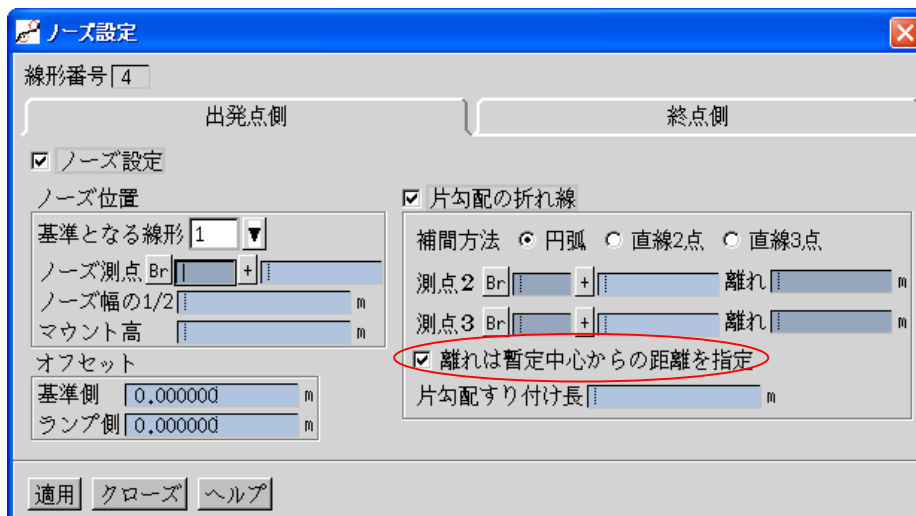
バージョン 1.7.13 (CD のバージョン 4.1.0.0)

- DM を読み込んだときの座標がおかしいことがある件を修正しました。
世界測地系対応のために地図の図郭座標が端数になっているファイルを読み込んだときに発生していました。

- 線形調整 -

バージョン 2.4.12C (CD のバージョン 4.0.2.3)

- クロソイドメータの S 型クロソイド、C 型クロソイドで線形変更したときの動作がおかしい件を修正しました。
- ノーズを設定するとき、片勾配の折れ線の通過点を暫定中心からの離れで指定できるようにしました。



- 路線選定 -

バージョン 3.3.2B (CD のバージョン 4.0.2.2)

- FUKUIN.DAT に同じ名称で登録されているデータがあったとき、横断部品の路面の編集時のコンボボックスで2つ目以降が選択できない件を修正しました。

バージョン 3.3.2C (CD のバージョン 4.0.2.3)

- 再読み込みで複数の地図を指定すると、同じ地図を2回読み込み、別の地図が削除されることがある件を修正しました。
- 横断図で複数線形かつページの表示にしたとき、基準でない線形の地形がおかしいことがある件を修正しました。

バージョン 3.3.3 (CD のバージョン 4.0.3.1)

- 横断図を DXF/SXF ファイルに出力できない件を修正しました。
- 主要点の「R= 」を DXF/SXF ファイルに出力したときの縦横比を改善しました。

バージョン 3.3.3A (CD のバージョン 4.0.4.0)

- 数量が、横断図での表示と数量計算書(PARA1.DAT/PNOK1.DAT)の出力で異なっていることがある件を修正しました。
複数の線形を使用しているとき、非常に遠くにある他線形の数量も合計していたので、これを計上しないようにしました。

- 路線選定(STRAXcube) -

バージョン 1.1B (CD のバージョン 4.0.2.1)

- ファイル(*.stc)を開いた後、異常終了したり、何も表示されなかったりする件を修正しました。
- レイヤが作成されないことがある件を修正しました。
Windows の一般ユーザ(あまり権限のないユーザ)で実行すると発生していました。

- 縦断図 -

バージョン 4.0B (CD のバージョン 4.0.2.1)

- 複数の線形があるデータをファイルに保存して、再度縦断を起動すると、線形が1つしか出てこない件を修正しました。
[帯とフリーボックス]ダイアログの[帯のスケール]タブで[すべての線形、ラインを上の設定にする]にチェックを入れて[適用]すると発生していました。
- レイヤが作成されないことがある件を修正しました。
Windows の一般ユーザ(あまり権限のないユーザ)で実行すると発生していました。

バージョン 4.0C (CD のバージョン 4.0.2.3)

- 曲率図、片勾配すりつけ図、拡幅すりつけ図のスケールが 0 になることがある件を修正しました。
[帯とフリーボックス]ダイアログで[帯のスケール]タブを表示しないで[適用]すると発生していました。

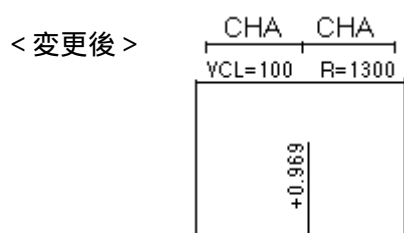
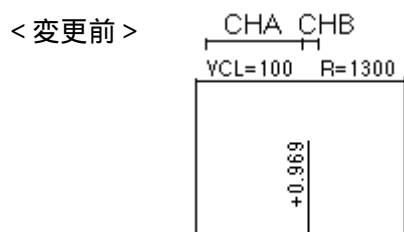
バージョン 4.0D (CD のバージョン 4.0.2.4)

- 用紙の端の十字を、外枠と重なっているときは作図しないようにしました。

バージョン 4.0E (CD のバージョン 4.0.3.0)

- ラインが測点単位の異なる線形で構成されているとき、測点の表示がおかしくなる件を修正しました。
- 片勾配すりつけ図で勾配が 0%の位置の測点がおかしいことがある件を修正しました。
- ツールバーの線形 / ラインを切り替えるコンボボックスで、線形とラインの数が多いときにすべての線形とラインが表示されない件を修正しました。
- 拡幅すりつけ図の中心線が不正な位置に描画される件を修正しました。
ラインのページで片勾配すりつけ図と拡幅すりつけ図が両方とも存在し、片勾配すりつけ図で測点位置の勾配を記入しているときに発生していました。

- VCL で詳細を作図しないとき、文字の位置が中央になるようにしました。
- VCL の作図で、「VCL=」と「R=」の文字位置が左右対称になるようにしました。



CHB の指定は廃止しました。

- VCL の「Y=」の 2 次式を作図するとき、二乗をあらわす「2」の文字高を CAD 製図基準にあうように他の文字と同じにしました。
- 曲率図の曲線半径、曲線長、パラメータ、直線長は常に作図するようにしました。従来は主要点の間が狭いときは作図しないようになっていました。
- 曲率図の「R=」または「A=」と「L=」の文字の行の間隔を修正しました。文字高によっては、文字が重なったり、すき間が大きすぎることがありました。

バージョン 4.2A (CD のバージョン 4.1.0.1)

- DWG ファイルに出力するとき、ポリラインの線種設定モードを「有効」で出力するようにしました。

バージョン 4.2B (CD のバージョン 4.1.0.2)

- [計画] のダイアログの [本線以外] タブのリストをダブルクリックしたとき、[帯グループ] のコンボボックスの内容が変わらないことがある件を修正しました。
- [計画] のダイアログで [適用] をクリックしたとき、[本線以外] タブのリストの選択状態がクリアされる件を修正しました。
また、[地盤線] ダイアログ、[ページ] ダイアログで発生する同様の問題も修正しました。
- SXF ファイルに出力したとき、異常終了することがある件を修正しました。

- 縦断地形 -

バージョン 2.0B (CD のバージョン 4.0.2.3)

- アプリケーション終了時の保存確認で「はい」を選択してもファイルが保存されない件を修正しました。

バージョン 2.0C (CD のバージョン 4.0.4.0)

- データを変更した後、[新規作成]または[開く]を実行したときに保存の確認が行われない件を修正しました。
- [名前を付けて保存]ダイアログで[ファイルの種類]を「JCH.DAT」と「*.jch」に分けるようにしました。「*.jch」を選択したときは、ファイル名の入力で拡張子を省略できます。



バージョン 2.1A (CD のバージョン 4.1.0.1)

- [オプション]メニューの[前に挿入]のチェック状態がおかしいことがある件を修正しました。
- 測点の追加距離の欄が未入力の時、入力エラーになる件を修正しました。
未入力の場合は、「0」が入力されたものとして扱います。
- CSV ファイルの読み込みをできるようにしました。

- 横断図 -

バージョン 4.0B (CD のバージョン 4.0.2.1)

- 数量枠エディタの作成ダイアログの「まとめ線番」、「線形番号」のコンボボックスの動作がおかしい件を修正しました。
- 起動時に「線形配置を修正してください」となった後、線形配置を修正しても、次回起動時に再び「線形配置を修正してください」と表示される件を修正しました。
- レイヤが作成されないことがある件を修正しました。

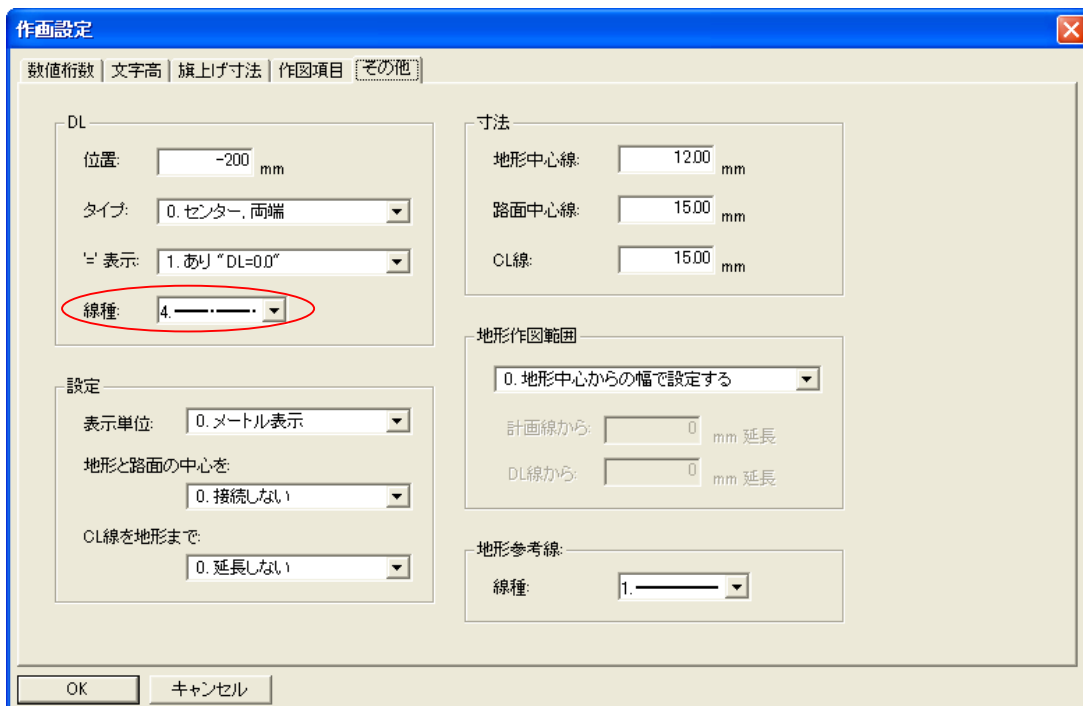
Windows の一般ユーザ(あまり権限のないユーザ)で実行すると発生していました。

バージョン 4.0C (CD のバージョン 4.0.2.2)

- 用排水編集、擁壁編集のダイアログで Enter キーを押すと異常終了する件を修正しました。

バージョン 4.0D (CD のバージョン 4.0.2.3)

- 寸法一括設置で法長(L=)が設置できない件を修正しました。
- 断面間コピーで線形番号が異なる断面間でコピーできない件を修正しました。
- SXF ファイルに出力した寸法の文字高がおかしい件を修正しました。
- 歩道、植樹帯の縁石反転がきかない件を修正しました。
- ランプ線形の ECPP 区間の路面が、基準線形が暫定道路のときにおかしい件を修正しました。
- DL 線の線種を設定できるようにしました。



バージョン 4.0E (CD のバージョン 4.0.2.4)

- 用紙の端の十字を、外枠と重なっているときは作図しないようにしました。

バージョン 4.0F (CD のバージョン 4.0.3.0)

- 簡易側道に対して寸法が設置できない件を修正しました。
設置しても次の断面に行くとなくなっていたり、用紙配置にするとなくなっていたりしていました。

バージョン 4.0G (CD のバージョン 4.0.3.1)

- 横引き出しの寸法が SXF ファイルに出力されない件を修正しました。
- 引き出しの寸法、およびラウンドした法面に付いている寸法を DWG/DXF ファイルに出力したとき、レイヤが「0」になっている件を修正しました。
- スキューした盛土が簡易側道の保護路肩で止まらない場合がある件を修正しました。
- プラニメータで操作した数量が消える場合がある件を修正しました。
- 切土の本線 - ランプ間にマッチラインを入れたとき、地形と計画の両方にまたがるようにしました。
- ECPP 区間でランプの路面勾配の矢印が反対に出ることがある件を修正しました。
- 用排水部品の外部データエディタ(二次製品の編集)で参照点をドラッグしようとするとき異常終了することがある件を修正しました。
- あらかじめ用意されている数量枠(番号 1~7)および国交省タイプの測点欄について、文字位置等を改善しました。

バージョン 4.1 (CD のバージョン 4.0.4.0)

- NEXCO の上部路床で EV 付で路床なしにしたとき、保護路肩の部分の切土の面積がとれていない件を修正しました。
- NEXCO の路床、路体ですりつけを手動にした部品が設置できない件を修正しました。
- 寸法編集の文字移動のとき、勾配などの斜め文字でも赤枠がいつも平行になる件を修正しました。
- 数量枠に伐開除根の数値があるとき、数量出力時に異常終了することがある件を修正しました。
- 数量分類を設定していないユーザ定義の数量種別の場合、数量ファイルに数量が出力できない件を修正しました。
- 数量表示で路床置き換えを ON にしてもハッチングが表示されないことがある件を修正しました。
- 数量種別定義でタイプが変更できない件を修正しました。

- 数量種別定義の数量分類を削除しようとしたとき、警告が出ない件を修正しました。
- 横断部品の編集で参考データを参照するとき、複製元のデータを選択しないで[OK]をクリックすると異常終了する件を修正しました。
- 用排水部品、擁壁部品の編集でマスターからデータをコピーするとき、複製元のデータを選択しないで[OK]をクリックすると異常終了する件を修正しました。
- 舗装詳細エディタの[路面舗装]の[中分接続線で接続しない層]の[車道]の値が設定できない件を修正しました。
- 舗装詳細エディタの[歩道舗装]、[保護路肩舗装]でデータを追加したとき、既存のデータが消えることがある件を修正しました。
- 舗装詳細エディタの[歩道舗装]、[保護路肩舗装]の[外側]のコンボボックスで、「3. 下幅から勾配で延長」と「4. 下の層と同勾配で延長」が入力できない件を修正しました。
- 舗装詳細エディタの[歩道舗装]、[保護路肩舗装]でデータが削除できない件を修正しました。
- 簡易線形エディタのラウンド値が2回目に開いたときに0になっている件を修正しました。

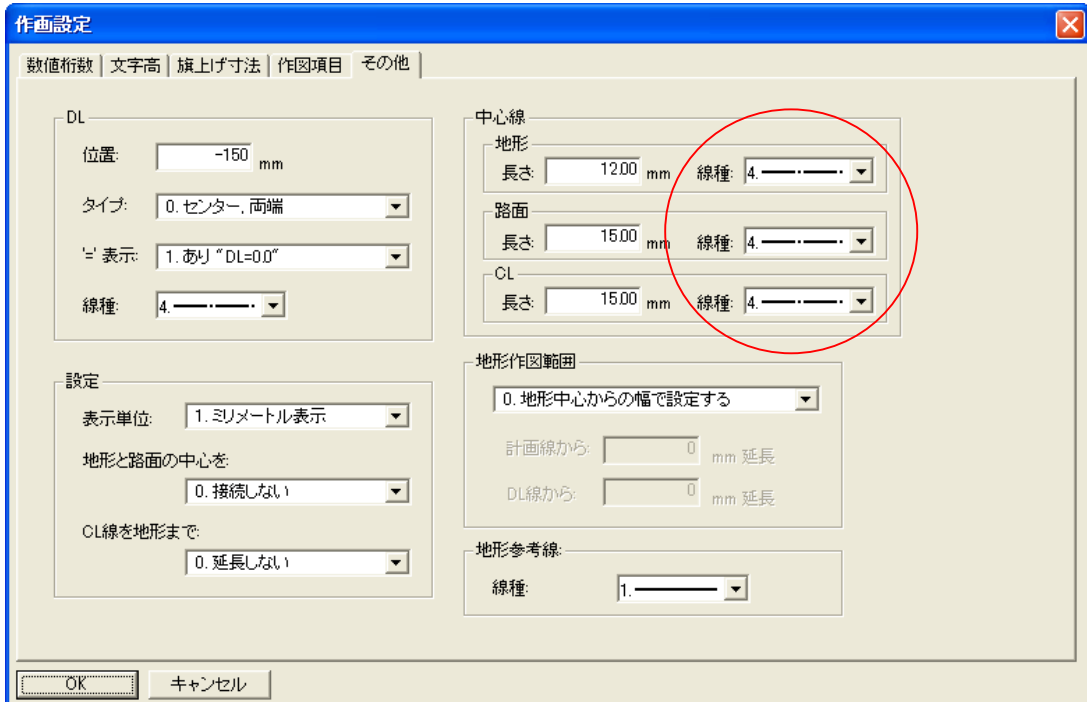
バージョン 4.2 (CD のバージョン 4.1.0.0)

- 舗装部品の編集で境界線勾配=1 にすると異常終了する件を修正しました。

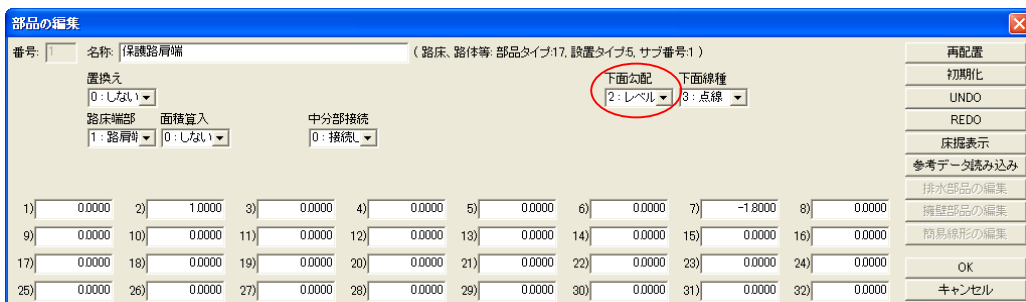
バージョン 4.2A (CD のバージョン 4.1.0.1)

- 横断部品編集のダイアログで、数値等を変更した後、排水部品編集を行って戻ると、変更した値が元に戻っている件を修正しました。
- [断面間で複製]のダイアログで、前回の設定がリセットされる件を修正しました。
- DWG ファイルに出力するとき、ポリラインの線種設定モードを「有効」で出力するようにしました。
- 横断部品編集、用排水編集、擁壁編集のダイアログで Enter キーを押したとき、ダイアログが閉じないようにしました。
- 旗上げ寸法で同じ幅なのに矢印が内向きになる場合と外向きになる場合がある件を修正しました。
- [数量・土量計算指示]および[測点欄、旗上げ、数量枠の配置]のダイアログのサイズを、画面の解像度の縦方向が768～800ピクセル程度でも表示できるように小さくしました。
- 路肩の勾配がおかしいことがある件を修正しました。
線形属性設定(線形調整)の路肩勾配すりつけタイプの設定にかかわらず路肩限界勾配を使って路肩の計算をしていましたが、路肩勾配すりつけタイプが「国交省 入力値通り」のときは路肩 限界勾配を使わないようにしました。
- 地形ツールで変更した記号が反映されないことがある件を修正しました。
- 土層線の設定で、土層線がリストの最後にしか追加できない件を修正しました。

- 発注元が NEXCO のとき、DL 線の線種のデフォルトを実線に変更しました。
- 中心線の線種を設定できるようにしました。



- 横断部品の路床 (部品タイプ 17、設置タイプ 5) および路肩盛土 (部品タイプ 17、設置タイプ 7) の下面勾配に「2: レベル」を指定できるようにしました。



バージョン 4.2B (CD のバージョン 4.1.0.2)

- 横断部品の編集で、根入れ (部品タイプ 11) の設置タイプ 2 と 10 を編集しているとき、U 型側溝の表示される位置がおかしい件を修正しました。
また、u (実数値の 18 番) に対する寸法が表示されていない件を修正しました。
- 横断部品の編集で、水路・地盤型 (部品タイプ 15) の床掘の寸法が表示されていない件を修正しました。
- SENKEI2.DAT の入力間違いがあると、起動してすぐ終了する件を修正しました。
- SXF ファイルに出力したとき、異常終了することがある件を修正しました。

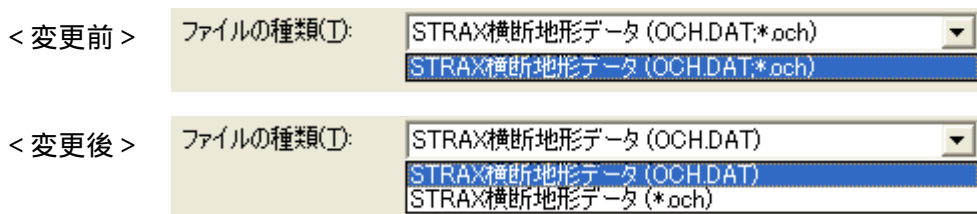
- 横断地形 -

バージョン 2.0B (CD のバージョン 4.0.2.3)

- 断面のデータをコピーして貼り付けるとメモリ不足になることがある件を修正しました。
- アプリケーション終了時の保存確認で「はい」を選択してもファイルが保存されない件を修正しました。

バージョン 2.0C (CD のバージョン 4.0.4.0)

- データを変更した後、[新規作成]または[開く]を実行したときに保存の確認が行われない件を修正しました。
- [名前を付けて保存]ダイアログで[ファイルの種類]を「OCH.DAT」と「*.och」に分けるようにしました。「*.och」を選択したときは、ファイル名の入力で拡張子を省略できます。



- 線形、測点を追加した後、追加したものが自動的に選択されない件を修正しました。

バージョン 2.1 (CD のバージョン 4.1.0.0)

- コピー&ペーストしようとするとう異常終了することがある件を修正しました。

バージョン 2.1A (CD のバージョン 4.1.0.1)

- 測点の追加距離の欄が未入力の際、入力エラーになる件を修正しました。
未入力の際は、「0」が入力されたものとして扱います。
- CSV ファイルの読み込みをできるようにしました。

- 土積図 -

バージョン 4.0D (CD のバージョン 4.0.2.4)

- 用紙の端の十字を、外枠と重なっているときは作図しないようにしました。

バージョン 4.0E (CD のバージョン 4.0.3.0)

- 搬土機種を追加、変更するとき、最大搬土距離が指定とは逆になる件を修正しました。
最大搬土距離で「無制限」をチェックして追加するとそのデータは「距離を入力」になり、「距

離を入力」をチェックして追加するとそのデータは「無制限」になっていました。

バージョン 4.2A (CD のバージョン 4.1.0.1)

- DWG ファイルに出力するとき、ポリラインの線種設定モードを「有効」で出力するようにしました。

バージョン 4.2B (CD のバージョン 4.1.0.2)

- [ページ]のダイアログで[表示する測点]の[測点間隔]が設定できない件を修正しました。
- SXF ファイルに出力したとき、異常終了することがある件を修正しました。

- 計算書出力 -

バージョン 2.7.0 (CD のバージョン 4.0.3.1)

- Excel ファイル出力時に、帳票名をヘッダに出力していたものを帳票内に出力するようにしました(以前のバージョンの仕様に戻しました)。
- Excel ファイル出力時に、合計 0 の項目の出力を印刷時と同じになるようにしました。

バージョン 2.7.2 (CD のバージョン 4.1.0.0)

- NEXCO の「切土計算書」、「盛土計算書」で重心補正をしていた場合、不正な帳票が出力されていた件を修正しました。

- 地形ツール -

バージョン 1.1B (CD のバージョン 4.0.2.1)

- [修正]メニューの[延長]コマンドで境界要素を選択する前に異常終了することがある件を修正しました。

バージョン 1.1C (CD のバージョン 4.0.2.2)

- ポリライン接続で、分岐検索時に辺の重複(一部・全部)がある場合、辺上にある頂点が分岐可能位置として認識されない件を修正しました。